

団体名 NPO 法人湘南クリーンエイドフォーラム
イベント名 ビーチクリーン駅伝 2023
開催日時 令和5年 10月と11月の毎週土日(11日間)
開催場所 神奈川県101の海岸
(横須賀市／走水海岸～湯河原町／千歳川河口左岸までの自然海岸)

1 貴団体の活動内容について教えてください。(時期、場所など)

ビーチクリーン駅伝は神奈川の自然海岸 150kmを 11 のエリアに分けて、1日に1エリアずつ、延べ 11 日間かけてビーチクリーンして周る日本一長い環境保全活動です。実施する範囲は三浦半島の東京湾側と相模湾全域に跨り、13市町の 101 の海岸におよびます。

この活動は広域な沿岸域を一貫的に清掃し、ごみの状況を調査することを目的とするとともに、各海岸の利用者やローカルセクターと繋がり、コミュニケーションを図りつつ地域全体をワンボイス化していくことを目標としています。

団体ホームページ <https://shonan-cleanaid.org/>

2 今回の活動はどうでしたか？

- ・実施日時：2023年10月1日(日)開始 - 11月5日(日)終了
(期間中の土日の11日間)
- ・実施場所：横須賀市走水海岸～湯河原町千歳川河口左岸の150kmの自然海岸
(実活動距離60.9km)
- ・延参加者：延べ143人
- ・ごみ回収：可燃ごみ428袋、不燃100袋、合計528袋(30L)、
ペットボトル2,440本、レジ袋314枚
- ・後援支援：神奈川県、横須賀市、三浦市、葉山町、逗子市、鎌倉市、藤沢市、
茅ヶ崎市、平塚市、大磯町、二宮町、小田原市、真鶴町、湯河原町、
公益財団法人かながわ海岸美化財団
- ・助成支援：エフピコ環境基金

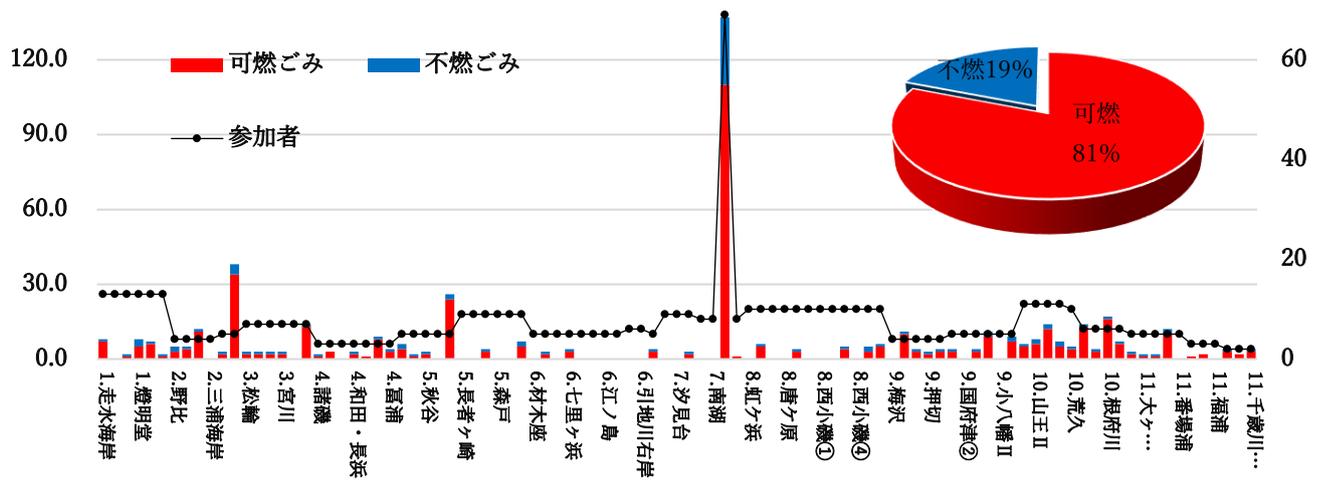
3 ごみの状況はどうですか？ プラスチックごみは多いですか？

海岸は総じてごみが少なく綺麗な海岸が多かったです。しかし局所的にはごみが極端に多い海岸もありました。「ごみは無いところにはないが、有るところにはある状態」でその落差が極端です。

ごみが多かった場所は相対的にあまり人が訪れないような場所、潮の満ち引きなどでごみが移動しにくい場所(吹き溜まりやテトラポットなどの人工物がある場所等)、それと河川の河口付近などでした。

私たちはこの活動を通して得た知見をもとに、ごみの多いポイントで集中的な活動を行うなど効率なごみ回収活動に活かしていきます。

【海岸別ごみ回収量のグラフ】

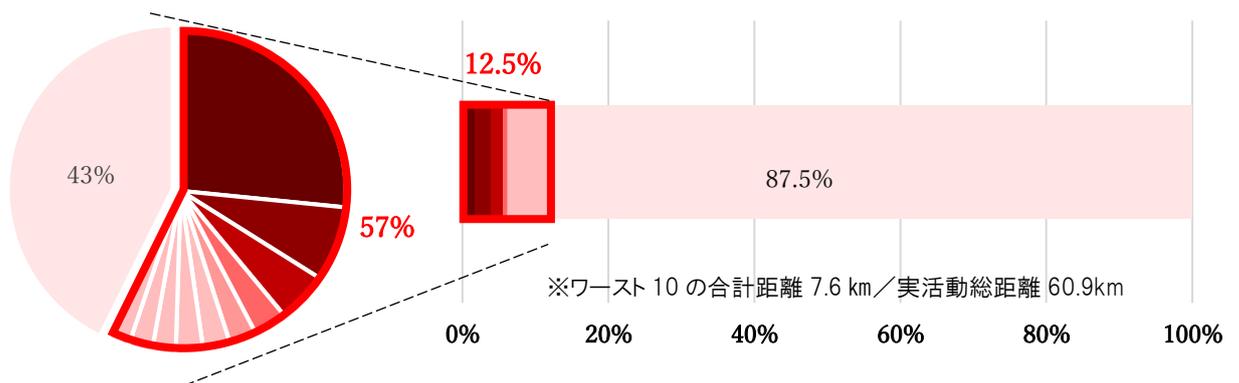


【ごみの多かったワースト10海岸】

ワースト	海岸	自治体	パート	ごみ袋数 (30L)	活動人数	活動時間
1	相模川河口左岸	茅ヶ崎市	パート7	137袋	69人	90分
2	唐池海岸	三浦市	パート2	38袋	5人	135分
3	關根海岸	横須賀市	パート5	26袋	5人	30分
4	根府川	小田原市	パート10	17袋	6人	30分
5	石橋	小田原市	パート10	14袋	6人	15分
6	万年	小田原市	パート10	14袋	11人	45分
7	城ヶ島	三浦市	パート3	14袋	7人	50分
8	津久井海岸	横須賀市	パート2	12袋	4人	60分
9	三石	真鶴町	パート11	12袋	5人	15分
10	越路	二宮町	パート9	11袋	4人	30分
合計				295袋	122人	500分

【ごみの偏在性】

今回の活動でごみの回収量の多かったワースト10の海岸のごみ回収量を合計すると全回収量の57%に相当します。一方でそのワースト10の海岸の合計距離は7.6kmで実活動距離全体(60.9km)の12.5%です。ごみが局所的に偏在していることが判ります。



4 今回の活動の参加者はどのような方が多かったですか？

この活動は毎年10月～11月の毎土日に行ってきており今回で7回目の活動となりました。毎回初参加の方がおられますが、最初の参加をきっかけにしてリピーター化される方も大勢おられます。そのようにしてベテランとなった参加者が自主的に初心者サポートなど運營業務の一端をフォローしてくれています。毎回大きなトラブルもなくこの活動を完遂できてきたのはスタッフと参加者の皆さまのチームワークによるものだと考えます。この活動は参加者の都合で部分的に参加することも可能ですが、丸一日を通して活動するのはとても過酷です。この活動に参加される方々は総じて環境問題意識が高く、海への思い入れの高い方たちが多いです。

5 参加者の方の感想はどうですか？

海が大好きで、友人に誘っていただいたことがきっかけで、初めてこのビーチクリーン駅伝に参加させていただきました。海を見て今まで癒されておりましたが、ごみこんなに沢山あることに衝撃を受けました。今まで気づかなかった自分が恥ずかしくなりましたが、ビーチクリーンを通して沢山の人と出逢い、みんなで一緒にごみを拾うのが楽しくなり、自分の気持ちも浄化されました。これからも1人でも多くの人と一緒に是非参加したいです。

6 貴団体の活動に参加したいという方へメッセージはありますか？

環境問題は様々な社会課題が複雑に絡み合い、唯一無二の解決策は存在しません。まるでパズルのように複雑に絡み合っている様々な問題に対し、多面性を考慮したバランスの良い施策をいくつもおこなう必要があります。もっとも大切なのはよくきょうふじゃく抑強扶弱、公利公益、未来世代に重きをおいて、私たち市民一人一人が自分事として行動することだと思います。

私たちの団体の活動はただごみを拾うだけの対処療法ではなく、活動を通して参加者にごみ問題を深く理解してもらうことを大切にしています。少し(?)面倒だったり、少し(?)大変な活動だとは思いますが、その体験から得られる知識はとて多いはず。明るい未来を次世代へ引き継ぐために、私たちと一緒に今何をすべきか考え、一緒に行動しましょう！

